

第2期みやぎ観光戦略プラン

～地域が潤う、住んでよし、訪れてよしの感動の「観光王国みやぎ」の実現を目指して～

第2期みやぎ観光戦略プラン

- ・「観光王国みやぎ」の実現に向けた「宮城の未来ビジョン」の分野別計画
- ・計画期間 平成23年度から平成25年度まで

○ 目指すべき「観光王国みやぎ」の姿

- ・ 県内に、自らの地域の魅力の掘り起こし、磨き上げ等を通じて絶え間なく新しい観光を創造する機運がみなぎっている。
- ・ 多彩な「食」、「温泉」といった魅力のほか、「都市と農山漁村の対比」、「季節の移り変わり」といった宮城ならではの「多様性」の魅力を生かして、様々な目的を持って国内外から訪れる多くの観光客に「見てよし」、「訪れてよし」の感動をもたらす地域となっている。
- ・ 多くの観光客が訪れることにより交流人口が増加し、地域経済及び地域社会の活性化が図られている。また、観光関連産業が地域経済をけん引する大きな役割を果たしている。
- ・ 県民が、宮城県そして自らの住む地域に魅力を感じ、「住んでよし」という誇りを持ち、また、おもてなしの心を持って宮城県を訪れる観光客に接している。
- ・ 観光が第1次から第2次、第3次産業まで幅広く関わる総合産業であり、地域経済及び地域の活性化に果たす役割が重要であることを県民が十分に認識している。
- ・ 様々な産業が連携して宮城らしい観光資源を醸成し、また、観光に関する地域の取組に県民が主体的に参加している。
- ・ 国内外からの観光客にとって東北エリアのゲートウェイとしての機能を十分に果たすとともに、東北の各県等との連携を深め、広域観光に関する取組を推進している。

○ 数値目標

- ① 観光客入込数 6,500万人
- ② 宿泊観光客数 900万人
(将来的には1,000万人を目指す。)
- ③ 外国人観光客宿泊者数 20万人
- ④ 観光消費額 6,300億円

- ・ 県民、観光関係団体等が参画した取組
- ・ 県の部局横断的の体制による取組

○ 観光王国みやぎの実現に向けた課題

観光客のニーズに応える観光地づくり、みやぎらしい観光地づくり（「都市と農山漁村」「季節の移り変わり」といった「多様性」の魅力を生かした観光地づくり）、従来にない新しい観光を提供するための態勢づくり

宿泊観光客の伸び悩み
(平成21年：787万人。前年比△17万人、2年連続減。)

関東以西からの観光客の少なさ
(東北地方からの宿泊観光客が約6割)

全国的に見た外国人観光客宿泊者数の少なさ
(平成21年：全国の約0.6% (全国20位))

広域観光推進のための近隣の地区・市町村・都道府県の連携した取組（東北のゲートウェイ機能の役割）

人口減少を踏まえた交流人口の増加の必要性（特に宮城県・東北以外からの誘客）

対象に合わせた効果的な誘客活動の実施（関東、中部以西、海外等の地域ごと、旅行目的ごと 等）

関係者の連携の強化（多様化する観光へのニーズの対応、新しい観光地づくりの取組など）

観光を楽しむ高齢者（アクティブ・シニア）の増加に対応するためのホスピタリティ向上

観光に関わる人材の育成等（観光地域づくりをけん引する者・観光事業に携わる者の育成、観光に関する県民意識の醸成など）

ICTを活用した宮城の情報の発信（インターネット等を活用した情報発信など）

○ 観光王国みやぎの実現に向けた取組

～5つの戦略プロジェクト～

みやぎの魅力向上プロジェクト

国内外の魅力ある観光地の中から宮城を選んで、訪れて、宿泊していただけるよう、宮城の魅力の向上、魅力の発信を実施する。

広域観光充実・域内流動促進プロジェクト

観光客の宮城・東北の域内での流動化を促進し、広域観光を充実する。また、ゲートウェイ機能を強化し、東北の広域観光ルートを構築する。

インバウンド強化プロジェクト

宮城への外国人観光客が増加するよう、誘客プロモーション活動の強化、外国人観光客にとって宮城県が訪れやすくなるような態勢の整備等を実施する。

関東以西からの誘客強化プロジェクト

関東以西から多くの観光客が宮城・東北を訪れていただけるよう、情報発信、誘客キャンペーンの実施等により宮城・東北の魅力の認知度の向上を実現する。

アクティブ・シニア等の受入態勢充実プロジェクト

今後増加が見込まれるアクティブ・シニア、障害者の方などにとって訪れやすい観光地となるよう施設整備や観光を支援する人材の育成を実施する。

課題の解決に向けた取組の推進

【観光王国みやぎ実現に向けた施策】

いざなう
(誘客活動)

もてなす
(観光地づくり)

ととのえる
(推進体制整備)

仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーンに関する取組(誘客, 受入態勢整備等)

食の魅力などによる宮城のPR

グリーンツーリズム等の体験型・交流型観光の基盤整備

道路・二次交通等の整備

インターネット等を活用した情報発信・調査分析

市町村、近隣県と連携した誘客

人材の育成等のための取組

東北観光推進機構等と連携した広域観光やインバウンドへの取組強化

外国人観光客の受入態勢の整備

外国人観光客の誘客(プロモーション活動)

首都圏等での誘客(仙台・宮城観光キャンペーン等)

市町村・県民・観光関係団体等との連携体制整備

県における部局横断的な体制整備

ねりんピックと連携した誘客

観光施設のバリアフリー化促進